

上谷川浄化センター沈砂池ポンプ棟耐震補強及び機械設備更新工事

総合評価に関する説明書

1. 総合評価方式の概要

(1) 総合評価の適用方式

簡易型Ⅰ型

(2) 審査方法

対象工事は入札後資格確認型(事後審査)を適用することから、入札参加者は下記の技術提案等を作成し、入札書等の提出時に提出するものとする。

- 簡易型Ⅰ型…様式-共1-Ⅰ「評価値申告書」
- 簡易型Ⅱ型…様式-共1-Ⅱ「評価値申告書」及び様式-Ⅱ「簡易な施工計画書」(※1~2項目設定)
- 標準型…様式-共1-Ⅲ「評価値申告書」及び「技術提案書(※様式は別途指示)」

(3) 評価値の申告等

入札参加者は、対象工事の評価項目について自社の保有する実績等の内容を、「評価値申告書」により申告するものとする。「評価値申告書」の評価値は、申告内容を評価基準に照らして得られた加算点の合計に標準点100点を加えた技術評価点を、入札価格で除して算出する。

なお、「簡易な施工計画(簡易型Ⅱ型)」及び「技術提案書(標準型)」については、それぞれ本市が審査を行って算出した評価点と申告のあった評価点を加算して求められた評価値を、入札参加者の評価値とする。

(4) 落札候補者の決定

上記(3)による評価値が最も高いものを落札候補者とする。

落札候補者は、「評価値申告書」の内容を証明する技術資料等(様式-共2~5及び添付書類)を作成、提出するものとする。

(各方式共通)

- 様式-共2「企業の評価、労働福祉、社会性及び地域貢献等の状況」
- 様式-共3「配置予定技術者の施工実績、資格等の状況」
- 様式-共4「地域貢献活動の実績説明書」
- 様式-共5「企業の東日本大震災対応」
- 上記の様式-共2~共5の内容を証明するための添付書類

(5) 落札者の決定

落札候補者が提出した技術資料等を審査し、上記(3)による評価値が適切である場合は、対象工事の落札者とする。

2. 評価項目及び加算点の設定

表1-1

評価視点	評価項目	加算点 配点 a	評点 満点 b	得点 c	加 重 度 d	評点 e	評価点 f	評価点 計 g
企業の 評価	ア 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点)	6	6	3	2	6	6.000	4.00
	イ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績	4	1	1	1	1	1.000	
	ウ 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事表彰歴		2	1	2	2	2.000	
	エ 過去2ヶ年における不誠実な行為又は労働災害等		0	0	1	0	0.000	
	オ 品質管理システムの認証取得状況		1	1	1	1	1.000	
	小計		4					
配置予定 技術者 の評価	カ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績	4	2	1	2	2	0.800	4.00
	キ 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点)		6	3	2	6	2.400	
	ク 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事技術者表彰歴		1	1	1	1	0.400	
	ケ 継続教育(CPD)の取組状況		1	1	1	1	0.400	
	小計		10					
企業の 労働福祉 社会性 地域貢献	コ 建設業退職金共済制度等の加入状況	6	0.5	0.5	1	0.5	0.273	6.00
	サ 企業年金制度の加入状況		0.5	0.5	1	0.5	0.273	
	シ 障害者の雇用促進状況		2	2	1	2	1.091	
	ス 環境管理システムの認証取得等の状況		1	1	1	1	0.545	
	セ 市内企業の活用計画割合		1	1	1	1	0.545	
	ソ 過去5ヶ年度及び現年度における下請負の地元発注推進企業顕彰歴		2	1	2	2	1.091	
	タ 過去2ヶ年度及び現年度における地域貢献活動等の実績		1	1	1	1	0.545	
	チ 防災に関する応援協定等の締結実績		1	1	1	1	0.545	
	ツ 緊急工事登録等への取組み実績		1	1	1	1	0.545	
	テ 過去2ヶ年度における困難業務等の従事実績		1	1	1	1	0.545	
	小計		11					
企業の東日本 大震災対応	ト 東日本大震災における緊急工事等の従事実績	3	2	2	1	2	2.000	3.00
	チ 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績		1	1	1	1	1.000	
	小計		3					
		23				加算点の合計	23.00	

※得点(c)=申告内容に応じて付与される点数

※評点(e)=得点(c)×加重量(d)

※評価点(f)=加算点配点(a)×(評点(e)/評点満点(b)の小計)

※評価点の計(g)は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位とする。

3. 評価基準及び得点の配点

評価基準及び得点の配点は下表のとおりとする。

(1) 企業の評価

視点	評価項目	評価基準	得点	入札時提出様式	落札候補時提出様式等
企業の評価	ア. 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点) 仙台市(企業局を除く。)が発注し、公告日の属する年度の直前の5ヶ年度に完成し、引渡し完了した、「対象工事と同種の工事区分」の工事成績評定点の平均点。 ※直前の5ヶ年度とは、平成19年度から平成23年度までをいう。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※平均点は直前の5ヶ年度の工事成績評定点を単純平均する。 ※直前の5ヶ年度に工事成績評定点が無いものは0点とする。 ※共同企業体としての工事成績評定点は、出資比率が20%以上の企業に限る。 ※技術力結集型の共同企業体としての工事成績評定点は、分担工事が「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の企業の実績を対象とする。	80点以上	3点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 ア.欄 ※申告した平均点の基となった工事成績通知書の写しを添付すること
		75点以上 80点未満	2点		
		65点以上 75点未満	1点		
		65点未満 又は 点数なし	0点		
	イ. 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績 国又は地方公共団体等が発注し、公告日の属する年度の直前の10ヶ年度及び現年度に完成し、引渡し完了した、別記2の「同種工事の条件」を満たす工事を元請けとして施工した実績。 ※直前の10ヶ年度とは、平成14年度から平成23年度までをいう。 ※現年度については公告日までに完成し、引渡が完了したものに 限る。 ※共同企業体としての施工実績は、出資比率が20%以上の企業 に限る。 ※技術力結集型の共同企業体としての施工実績は、分担工事が 「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、 対象工事が属する大分類以下のものとする。 ●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の 企業の実績を対象とする。	実績あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 イ.欄 ※CORINS登録の竣工時カルテの写し、 又は申告実績が確認できる 契約図書等の写しを添付す ること。 なお、 CORINS登録の竣工時カル テ上で「同種 工事の条件」 を確認でき ない場合は、 申告実績が 確認でき る契約図 書等の写し も添付す ること。
		実績なし	0点		
	ウ. 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事表彰歴 公告日の属する年度の直前の5ヶ年度及び現年度における、仙 台市優良建設工事表彰要綱に基づく表彰歴。 ※直前の5ヶ年度とは、平成19年度から平成23年度までをいう。 (注:表彰工事の完了年度ではない。) ※現年度については、公告日までに表彰を受けたものを対象とす る。 ※対象となる表彰歴は、「対象工事と同種の工事区分」のものに限 る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、 対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※共同企業体としての表彰歴は、出資比率が20%以上の企業に 限る。 ※技術力結集型の共同企業体としての表彰歴は、分担工事が「対 象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の 企業の実績を対象とする。	表彰歴 あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告 書」	様式-共2 ウ.欄 ※該当する表 彰状等の写し を添付す ること
		なし	0点		

<p>エ. 過去2ヶ年における不誠実な行為又は労働災害等不誠実な行為又は労働災害等の対象は次のとおり。 ○開札日から起算して過去2ヶ年の間に、「有資格者に対する指名停止に関する要綱」に基づく指名停止を受けているもの。 ○開札日から起算して過去2ヶ年の間に、本市の発注工事において発生した労働災害若しくは公衆災害について、本市から事故防止に関する文書指導を受けているもの。</p> <p>※共同企業体による不誠実な行為及び労働災害等の履歴については、出資比率が20%以上の企業を対象とする。 ※技術力結集型の共同企業体による不誠実な行為及び労働災害等の履歴については、すべての企業の履歴を対象とする。 ※対象期間内に指名停止又は文書指導が複数あるものは、-2点とする。ただし、同一原因に基づく指名停止と文書指導については1件とみなす。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業の履歴を対象とする。</p>	なし	0点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 エ.欄 ※指名停止通知又は文書指導の写しを添付すること
	指名停止又は文書指導が1回あり	-1点		
	指名停止又は文書指導が複数回あり	-2点		
<p>オ. 品質管理システムの認証取得状況 公告日時点で有効である、ISO9001(品質マネジメントシステム)の認証取得状況。</p> <p>※公告日が有効期限内であること、及び入札に参加する事業所(本店、支店若しくは支社、又は工場製作を含む工事にあっては、製作工場名)が明記されていること。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の企業の実績を対象とする。</p>	取得あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 オ.欄 ※登録証及び付属書の写しを添付すること
	なし	0点		

(2)配置予定技術者の評価

視点	評価項目	評価基準	得点	入札時提出様式	落札候補時提出様式等
	<p>カ. 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績 本工事に配置する技術者が、国又は地方公共団体等が発注し公告日の属する年度の直前の10ヶ年度及び現年度に完成し、引渡しが完了した、別記2の「同種工事の条件」を満たす工事に、主任技術者、監理技術者又は現場代理人として従事した実績。</p> <p>※直前の10ヶ年度とは、平成14年度から平成23年度までをいう。 ※現年度については公告日までに完成し、引渡しが完了したものに 限る。 ※共同企業体としての従事実績は、出資比率が20%以上の企業 に限る。 ※技術力結集型の共同企業体としての従事実績は、分担工事が 「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、 対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※従事を必要とする期間に対する主任技術者、監理技術者又は 現場代理人として従事した期間の割合は90%以上であること。ただ し、現場代理人は、建設業法第26条第1項に規定する「主任技術 者」と同等以上の資格を有すること。 ※現場代理人としての従事実績で評価値を申告する場合、契約約 款等により常駐を必要とする期間に対して従事した期間の割合が 90%以上であること。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者 の企業に所属する技術者の実績を対象とする。</p>	実績あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共3 カ.欄 ※CORINS登 録の竣工時カ ルテの写し、 又は申告実績 が確認できる 契約図書等の 写しを添付す ること。 なお、 CORINS登録 の竣工時カル テ上で「同種 工事の条件」 を確認できな い場合は、申 告実績が確認 できる契約図 書等の写しも 添付すること。
		なし	0点		
配置 予 定 技 術 者 の 評 価	<p>キ. 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点) 本工事に配置する技術者が、主任技術者、監理技術者又は現場 代理人として従事した、仙台市(企業局を除く。)が発注し公告日の 属する年度の直前の5ヶ年度に完成し、引渡しを受けた「対象工事 と同種の工事区分」の工事成績評定点の平均点。</p> <p>※直前の5ヶ年度とは、平成19年度から平成23年度までをいう。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、 対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※従事を必要とする期間に対する主任技術者、監理技術者又は 現場代理人として従事した期間の割合は90%以上であること。ただ し、現場代理人は、建設業法第26条第1項に規定する「主任技術 者」と同等以上の資格を有すること。 ※現場代理人としての従事実績で評価値を申告する場合、契約約 款等により常駐を必要とする期間に対して従事した期間の割合が 90%以上であること。 ※共同企業体の主任技術者、監理技術者又は現場代理人として 従事した工事の工事成績評定点は、出資比率が20%以上の企業 の技術者に限る。 ※技術力結集型の共同企業体の主任技術者、監理技術者又は現 場代理人として従事した工事の工事成績評定点は、分担工事が 「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※直前の5ヶ年度に工事成績評定点が無いものは0点とする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者 の企業に所属する技術者の実績を対象とする。</p>	80点以上	3点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共3 キ.欄 ※申告した平 均点の基と なった工事成 績通知書の写 しを添付す ること。 ※配置予定技 術者の従事し た期間が判る 資料を添付す ること。
		75点以上 80点未満	2点		
		65点以上 75点未満	1点		
		65点未満 又は 点数なし	0点		

<p>ク. 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事技術者表彰歴 公告日の属する年度の直前の5ヶ年度及び現年度における、仙台市優良建設工事表彰要綱に基づく技術者表彰歴。</p> <p>※直前の5ヶ年度とは、平成19年度から平成23年度までをいう。 (注:表彰工事の完了年度ではない。) ※現年度については、公告日までに表彰を受けたものを対象とする。 ※対象となる表彰歴は、「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※共同企業体としての技術者表彰歴は、出資比率が20%以上の企業の技術者に限る。 ※技術力結集型の共同企業体の技術者表彰歴は、分担工事が「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の企業に所属する技術者の実績を対象とする。</p>	表彰歴あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共3 ク.欄 ※該当する表彰状等の写しを添付すること
	なし	0点		
<p>ケ. 継続教育(CPD)の取組み状況 配置予定技術者が取り組んでいる継続教育(CPD)について、次のいずれかの団体が証明した取得単位を評価対象とする。</p> <p>○(社)日本技術士会…推奨150単位(3年間) ○(社)全国土木施工管理技士連合会…推奨30単位(1年間) ○(社)農業農村工学会技術者継続教育機構…推奨50単位(1年間) ○(社)日本建築士会連合会…推奨12単位(1年間) ○(社)空気調和・衛生工学会…推奨50単位(1年間) ○(社)建築設備技術者協会…推奨50単位(1年間)</p> <p>※継続教育の取得単位の証明書は、証明日が公告日から起算して過去1年以内の日付けのものであり、かつ証明期間は証明日から各団体の推奨時間(年)を遡った期間であるものを有効とする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体の代表者の企業に所属する技術者の実績を対象とする。</p>	推奨単位以上の取得単位がある	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共3 ケ.欄 ※配置予定技術者が参加登録している団体が発行する証明書の写しを添付すること
	推奨単位の1/2以上の取得単位がある	0.5点		
	推奨単位の1/2未満の取得単位がある	0.25点		
	取得単位なし	0点		

(3) 企業の労働福祉, 社会性及び地域貢献

視点	評価項目	評価基準	得点	入札時提出様式	落札候補時提出様式等
企業の労働福祉	<p>コ. 建設業退職金共済制度又は退職一時金制度の加入状況次のいずれかの制度の加入状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建設業退職金共済制度 ○中小企業退職金共済制度 ○特定退職金共済制度 <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体を構成するすべての企業の加入状況を対象とする。</p>	加入済み	0.5点	様式-共1-I「評価値申告書」	<p>様式-共2コ.欄</p> <p>※加入を証明する資料の写しを添付すること</p>
	なし	0点			
	<p>サ. 企業年金制度の加入状況次のいずれかの制度の加入状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○厚生年金基金制度 ○確定給付企業年金制度 ○確定拠出年金制度 ○適格退職年金制度 <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体を構成するすべての企業の加入状況を対象とする。</p>	加入済み	0.5点	様式-共1-I「評価値申告書」	<p>様式-共2サ.欄</p> <p>※加入を証明する資料の写しを添付すること</p>
なし	0点				
<p>シ. 障害者の雇用促進状況</p> <p>公告日現在における障害者雇用促進法に基づく障害者の雇用状況及び法定雇用率(1.8%)に対する取組み状況。</p> <p>※入札企業と直接雇用関係にある建設業従事職員(雇用期間を特に限定することなく常時雇用されている労働者(1週間の所定労働時間が当該事業主の事業所に雇用する労働者の1週間の所定労働時間に比して短く, かつ厚生労働大臣が定める時間数未満である常時雇用する労働者を除く。))を対象とする。</p> <p>※重度障害者(1級又は2級に相当)の認定を受けている者を雇用している場合は, その1人をもって障害者2人とみなす。</p> <p>※法定雇用率が適用されない事業所において, 障害者を1人以上雇用している場合は2点を付与する。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体の代表者の企業の実績を対象とする。</p>	法定雇用率以上又は義務外雇用あり	2点	様式-共1-I「評価値申告書」	<p>様式-共2シ.欄</p> <p>※障害者雇用状況報告書(控)の写しを添付すること</p> <p>※法定雇用義務のない事業所にあつては, 障害者の雇用が確認できる書類等を提示すること</p>	
法定雇用率未満	1点				
雇用なし	0点				
企業の社会性	<p>ス. 環境管理システムの認証取得等の状況</p> <p>公告日時点で有効である, 次のいずれかの環境マネジメントシステムの認証取得等の状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ISO14001の認証取得 ○みちのく環境管理規格の認証取得 ○環境報告書の公表 <p>※認証登録又は公表している活動範囲には, 入札に参加する事業所(本店, 支店若しくは支社, 又は工場製作を含む工事にあつては製作工場名)が明記されていること。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体の代表者の企業の実績を対象とする。</p>	取得あり	1点	様式-共1-I「評価値申告書」	<p>様式-共2ス.欄</p> <p>※該当する登録証及び付属書の写しを添付すること</p>
なし	0点				

(3) 企業の労働福祉, 社会性及び地域貢献[続き]

視点	評価項目	評価基準	得点	入札時提出様式	落札候補時提出様式等
	<p>セ. 市内企業の活用計画割合</p> <p>元請負人が締結する予定下請契約の総額に占める, 市内企業と下請契約を締結する金額の割合(%)を評価する。 ただし, 予定契約金額(入札金額×1.05で計算)に占める予定下請金額の総額の割合が45%を超えるものであること。 計算式=(市内企業との予定下請金額÷ 予定下請金額の総額)×100= @@@%</p> <p>※市内企業とは, すべての一次下請の企業のうち仙台市内に本社を有する企業とする。 ※活用割合は, 実施可能と判断した割合(得点区分)で申告する。 ※本項目については竣工検査時に履行確認を行い, 活用計画割合が申告した得点区分を下回った場合, 工事成績評定点から減点を行うものとする。ただし, 上回った場合の加点は行わない。 ※建設業法における建設工事以外の契約は対象外とする。(対象外の例: 測量の委託契約, 資材の売買契約, 警備の請負契約, 運搬の請負契約, リース契約など)</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体を構成するすべての企業の活用計画を積上げて求めた割合とする。</p>	80%以上	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 セ.欄 ※参考様式-1の市内企業の活用計画割合算定調書を添付すること
		50%以上 80%未満	0.5点		
		50%未満 又は 該当下請 なし	0点		
企業の 地域 貢献	<p>ソ. 過去5ヶ年度及び現年度における下請負の地元発注推進企業顕彰歴</p> <p>公告日の属する年度の直前の5ヶ年度及び現年度における, 下請負における地元発注推進企業の顕彰に関する要綱に基づく顕彰歴。</p> <p>※直前の5ヶ年度とは, 平成19年度から平成23年度をまでをいう。 (注: 顕彰工事の完了年度ではない。) ※現年度については, 公告日までに表彰を受けたものを対象とする。 ※対象となる顕彰歴は, 「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは, 別記1の区分表において, 対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※共同企業体としての顕彰歴は, 出資比率が20%以上の企業に限る。 ※技術力結集型の共同企業体としての顕彰歴は, 分担工事が「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には, 共同企業体の代表者の企業の実績を対象とする。</p>	顕彰歴 あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 ソ.欄 ※当該表彰状等の写しを添付すること
		なし	0点		

<p>タ. 過去2ヶ年度及び現年度における地域貢献活動等の実績 公告日の属する年度の直前の2ヶ年度及び現年度に、仙台市内において企業として参加又は実施した実績を対象とする。 ○河川、道路及び公園等の清掃活動 ○消防団への参加協力(協力事業所の認定) ○交通安全運動への協力 ○その他、事業所としての活動が確認できる実績</p> <p>※直前の2ヶ年度とは平成22年度及び平成23年度をいう。 ※現年度については公告日までに参加又は実施した実績に限る。 ※単に金銭や物品の寄付、場所の提供及び後援や協賛といった名義提供等のみの活動内容は対象としない。 ※本市発注工事において地域配慮等により工事成績評定点で加点評価された地域貢献等の実績は対象としない。 ※仙台市内における実績を評価対象とすることを原則とするが、仙台市に有益な活動や仙台市域を中心とした貢献活動と一連の活動と判断出来るものは評価対象に含める。(事例は「仙台市発注工事における総合評価一般競争入札の手引き」参照のこと) ※同じ年度内における同一活動の複数実績については1回とカウントする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。</p>	複数実績あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 タ.欄 様式-共4 ※添付資料は、活動にかかる協定書、実施要領又は活動報告書のほか、状況写真、活動証明書、感謝状又はお礼状など、事業所として参加したことが証明できる資料の写しを添付すること
	実績あり	0.5点		
	なし	0点		
<p>チ. 防災に関する応援協定等の締結実績 各種業界団体と本市との間で締結された、防災協定のうち、災害時の応急若しくは支援活動等について、団体加入自社の配備体制等が明確になっている防災協定の締結の有無を対象とする。</p> <p>※防災に関する応援協定等の締結実績の有無は、公告日現在の状況を申告するものとする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。</p>	締結実績あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 チ.欄 ※申告実績が確認できる防災協定書の写しを添付すること ※防災協定書に加えて自社の配備体制等が明確になっていることが判る資料の写しを添付すること
	なし	0点		

企業の 地域 貢献	<p>ツ. 緊急工事登録等への取組み実績 本市が管理する公共施設に係る突発事故や小規模災害に常時対応するため、各施設管理者と緊急工事等の登録又は指定受託の有無を対象とする。</p> <p>※緊急工事登録等への取組み実績は、公告日現在の状況を申告するものとする。 ※緊急工事の登録又は指定については、「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。 ●技術力結集型の共同企業体による入札公告の場合には、「対象工事と同種の工事区分」を「分担工事と同種の工事区分」と読み替えるものとする。ただし、「分担工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、分担工事が属する大分類以下のものとする。</p>	複数登録が認められる	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 ツ.欄 ※申告実績が確認できる緊急工事等の登録、指定受託等の写しを添付すること
		登録等あり	0.5点		
		なし	0点		
	<p>テ. 過去2ヶ年度における困難業務等の従事実績 困難業務等とは次のいずれかに従事した実績を対象とする。 ○本市が管理する公共施設(道路、公園、下水道、河川、農業用施設その他施設)に関する緊急工事等に従事した実績 ○本市が管理する道路(車道、歩道)における冬季間の除雪又は凍結防止業務等に従事した実績 ○宮城県内における災害時の対応活動に従事した実績</p> <p>※直前の2ヶ年度とは、平成22年度及び平成23年度をいう。 ※困難業務等については、「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。 ※宮城県内における災害時の対応活動に従事した実績のうち、評価項目に該当する内容は評価の対象外とする。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。 ●技術力結集型の共同企業体による入札公告の場合には、「対象工事と同種の工事区分」を「分担工事と同種の工事区分」と読み替えるものとする。ただし、「分担工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、分担工事が属する大分類以下のものとする。</p>	複数の従事実績あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共2 テ.欄 ※申告実績が確認できる契約書、請書又は施工指示書等の写しを添付すること ※災害時の対応活動への従事実績については、国、県又は市町村からの実績証明等の写しを添付すること
		従事実績あり	0.5点		
		なし	0点		

(4) 企業の東日本大震災対応

視点	評価項目	評価基準	得点	入札時提出様式	落札候補時提出様式等
企業の東日本大震災対応	<p>ト. 東日本大震災における緊急工事等の従事実績 東日本大震災における緊急工事等の従事実績を対象とする。</p> <p>※平成23年3月11日から仙台市と契約し公告日までに引渡し完了した緊急工事等の従事実績を対象とする。ただし、家屋解体業務については継続中のものも含む。 ※緊急工事等の従事実績のうち、評価の対象となるものは、「対象工事と同種の工事区分」のものに限る。 ※「対象工事と同種の工事区分」とは、入札公告時に示す「総合評価に関する説明書」の別記1の区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。</p> <p>※緊急工事等の件数の考え方は下記の通りとする。 ○仙台市より緊急工事(委託)指示書のあるものは、指示書ごとに1件として取り扱う。ただし、指示書の無い案件については、契約書をもって特命随意契約であることを確認して1件として取り扱う。 ○学校等の修繕工事については、同一施設で修繕工事を複数契約しているものもあるが、施設単位で1件として取り扱う。 ○家屋解体業務については、作業指示書による解体家屋軒数ではなく、単価契約を1件として取り扱う。但し、アスベスト除去を伴う解体業務を行った場合は1件として追加する。 ○被災者の方への支援制度である「住宅の応急修理制度」の従事実績を1件として取り扱う。 ※本評価項目は平成27年度まで適用する。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。 ●技術力結集型の共同企業体による入札公告の場合には、「対象工事と同種の工事区分」を「分担工事と同種の工事区分」と読み替えるものとする。ただし、「分担工事と同種の工事区分」とは、別記1の区分表において、分担工事が属する大分類以下のものとする。</p>	6件以上の従事実績あり	2点	様式-共1-I 「評価値申告書」	様式-共5 ト.欄 ※仙台市の発注部局が発出した緊急工事(委託)指示書の写し。 ※契約書の写し。 ※その他従事内容が確認出来る資料。
		4~5件の従事実績あり	1.5点		
		2~3件の従事実績あり	1点		
		従事実績あり	0.5点		
		なし	0点		
	<p>ナ. 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績 東日本大震災の発生以降に、「被災者等」を新規に採用し、公告日現在において建設業従事職員として1名以上雇用している実績。</p> <p>※「被災者等」とは東日本大震災にかかる青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県及び長野県内の災害救助法適用地域に所在する事業所を離職した失業者又は当該地域に居住していた求職者をいう。 ※評価対象は、東日本大震災以降にハローワークを通じて採用し、対象工事の公告日時点において1ヶ月以上雇用している者とし、公告日以前に解雇又は退職したものは対象としない。 ※なお、一週間の所定労働時間が、当該事業所の事業所に雇用する通常の労働者の一週間の所定労働時間に比し短く、かつ、厚生労働大臣の定める時間数未満である常時雇用する短時間労働者は対象としない。 ※本評価項目は平成27年度まで適用する。</p> <p>●共同企業体による入札公告の場合には、共同企業体を構成するすべての企業のうち、いずれかの企業の実績を対象とする。</p>	雇用あり	1点	様式-共1-I 「評価値申告書」	ナ.欄 様式-共5 ※申告した雇用実績を証明する次のものを提示する。 ①(参考様式-2)「災者雇等」雇用実績報告書(※提出する。) ②「罹災証明書」又は「雇用保険受給資格者証」 ③ハローワークが発行する紹介状 ④雇用保険被保険者資格取得等確認通知書 ⑤「出勤簿」又は「賃金台帳」 ⑥その他、上記内容が確認出来る資料
		なし	0点		

●別記1

評価項目のア,ウ,キ,ク,ソ,ツ,テの項目説明における「対象工事と同種の工事区分」のものは、下記区分表において、対象工事が属する大分類以下のものとする。

大分類	中分類	小分類
01 土木工事	01一般土木工事	01土木工事
	02舗装工事	06舗装工事
	07造園工事	07造園工事
	09その他土木工事	02法面処理工事, 03杭打ち工事, 04PC桁工事, 05鋼橋上部工事, 08区画線設置工事, 09道路標識設置工事, 10しゅんせつ工事, 11さく井工事, 36その他鋼構造物設置工事
02 建築工事	11建築工事	12鉄骨鉄筋コンクリート建築工事
	29その他建築工事	13木造建築工事, 14プレハブ建築工事, 15家屋解体工事, 16塗装工事, 17防水工事, 18大工工事, 19左官工事, 20石工事, 21ガラス工事, 22タイル・れんが・ブロック工事, 23鉄筋工事, 24屋根工事, 25板金工事, 26建具工事, 27内装仕上工事, 36その他鋼構造物設置工事
03 電気工事	31一般電気工事	28電気設備工事
	32弱電工事	29電気通信設備工事
	33昇降機工事	33その他機械器具設置工事
	39その他電気工事	
04 機械工事	41給排水設備工事	30給排水衛生冷暖房工事
	42機械設備工事	31水処理施設工事, 32ごみ・し尿処理施設工事, 33その他機械器具設置工事, 34熱絶縁工事, 35消防施設工事
	49その他機械工事	36その他鋼構造物設置工事

●別記2

評価項目のイ及びカでいう「同種工事の条件」は次のとおりとする。

国又は地方公共団体等が発注した公共下水道、流域下水道の処理場若しくはポンプ場又は都市下水路のポンプ場の自動除塵設備を備えた沈砂池設備の更新工事

4. 技術提案等の提出について

入札参加者は、入札書等の提出時に技術提案等として「評価値申告書」及び「簡易な施工計画書」(簡易型Ⅱ型)又は技術提案書(標準型)を提出すること。

また、落札候補者となった場合は、「評価値申告書」の内容を証明する技術資料等として、「様式-共2～5」及び「左記様式の内容を証明するための添付書類」を提出すること。

ア. 入札書等の提出時に提出

- 簡易型Ⅰ型の場合…様式-共1-Ⅰ「評価値申告書」
- 簡易型Ⅱ型の場合…様式-共1-Ⅱ「評価値申告書」及び様式-Ⅱ「簡易な施工計画書」
- 標準型の場合 …様式-共1-Ⅲ「評価値申告書」及び「技術提案書(※様式は別途指定)」

イ. 落札候補者となった時に提出(各方式共通)

- 様式-共2「企業の施工実績, 労働福祉, 社会性及び地域貢献等の状況」
- 様式-共3「配置予定技術者の施工実績, 資格等の状況」
- 様式-共4「地域貢献活動の実績説明書」
- 様式-共5「企業の東日本大震災対応」
- 上記の様式-共2～共5の内容を証明するための添付資料

○提出方法

- ①技術提案等は、原則、仙台市電子入札システムによる提出とする。
- ②落札候補者となった時の提出書類は、仙台市電子入札システムによる提出か、又は持参若しくは郵送とする。

5. 提出様式の記入要領

(1) 評価対象となる企業又は配置予定技術者について

ア 発注形態が単体の場合

○入札に参加する企業及び企業に所属する技術者。

イ 発注形態が共同企業体の場合

○評価項目のア、イ、ウ、オについては共同企業体を構成する企業のうち代表者の企業とし、評価項目のカ、キ、ク、ケについては代表者の

の企業に所属する技術者とする。

また、評価項目のエについては、共同企業体を構成するすべての企業を対象とする。

評価項目のシ、ス及びソについては、共同企業体を構成する企業のうち代表者の企業とし、評価項目のコ、サ及びセについては、共同企業体を構成するすべての企業を対象とする。

評価項目セについては、共同企業体を構成する企業すべての計画割合を積み上げて申告すること。

評価項目タ、チ、ツ、テ、ト、ナについては、共同企業体を構成する企業のうち、いずれかの企業の実績を申告することができる。

(2) 様式-共1-I「評価値申告書」について

本様式の作成にあたっては、下記事項及び「3.評価基準及び得点の配点」に留意して作成すること。

▽簡易型 I 型の入力例

様式-共1-I 共通 (JV, CPD)									
			整理番号						
評価値申告書									
			会社名						
工事件名									
1. 評価項目									
評価視点	評価項目	加算点配点	評点配点	申告内容	得点	加算	評点	評価点	評価点計
企業の評価	ア 過去5ヶ年度における工事成績評定点 (平均点)	6	6	80点	3	2	6	6.000	6.00
	イ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績	4	1	施工実績あり	1	1	1	1.000	
	ウ 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事表彰歴		2	表彰歴あり	1	2	2	2.000	
	エ 過去2ヶ年における不従事行為又は労働災害等		0	なし	0	1	0	0.000	
	オ 品質管理システムの認証取得状況		1	認証取得あり	1	1	1	1.000	
		4							
配置予定技術者の評価	カ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績	4	2	施工実績あり	1	2	2	0.800	4.00
	キ 過去5ヶ年度における工事成績評定点 (平均点)		6	80点	3	2	6	2.400	
	ク 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事技術者表彰歴		1	表彰歴あり	1	1	1	0.400	
	ケ 継続教育 (CPD) の取組状況		1	権限算出以上の取得単位あり	1.00	1	1	0.400	
		10							
企業の労働福祉 企業の地域貢献	コ 建設業退職金共済制度等の加入状況	6	0.5	構成員全てが加入している	0.5	1	0.5	0.273	6.00
	サ 企業年金制度の加入状況		0.5	構成員全てが加入している	0.5	1	0.5	0.273	
	シ 障害者の雇用促進状況		2	法定雇用率以上	2	1	2	1.091	
	ス 環境管理システムの認証取得等の状況		1	認証取得等あり	1	1	1	0.545	
	セ 市内企業の活用計画割合		1	80%以上	1	1	1	0.545	
	ソ 過去5ヶ年度及び現年度における下請負における地元発注推進企業顕彰歴		2	顕彰歴あり	1	2	2	1.091	
	タ 過去2ヶ年度及び現年度における地域貢献活動等の実績		1	複数実績あり	1	1	1	0.545	
	チ 防災に関する応援協定等の締結実績		1	協定締結あり	1	1	1	0.545	
ツ 緊急工事登録等への取組み実績	1	複数登録等あり	1	1	1	0.545			
テ 過去2ヶ年度における困難業務の従事実績	1	複数実績あり	1	1	1	0.545			
		11							
企業の東日本大震災対応	ト 東日本大震災における緊急工事等の従事実績	3	2	6件以上の実績あり	2	1	2	2.000	3.00
	ナ 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績		1	雇用あり	1	1	1	1.000	
		3							
		23							
			加算点 (1)		23.00				
2. 入札価格				② ¥ 123,456,000 (消費税抜き)					
3. 評価値の計算				評価値 = $\frac{標準点 + 加算点 (1)}{入札価格 (2)} = \frac{100点 + 23.00}{123,456,000} = 0.99630$					
※評価値は、入札価格を百万で除したもので計算し、小数点以下第4位を切り捨てとします。									
4. 留意事項									
※1 はじめに、整理番号、会社名(商号)及び工事件名を記入して下さい。									
※2 計算書の太枠セル(黄色)について、該当するものをリストから選択するか又は数値を入力して下さい。									
※3 記入等にあたっては、入札公告の「総合評価に関する説明書」をお読み下さい。									
※4 本様式は、仙台市電子入札システムによる総合評価一般競争入札に適用します。									

i はじめに
共同企業体名を入力して下さい。

ii 申告内容の入力
申告内容欄(太枠、黄色セル)に表示されるリストから、自社が保有する実績等の該当するものを選択入力して下さい。
工事成績評定点に関するアとキの評価項目の申告内容は、数値(点数)を直接入力して下さい。

※各評価項目の評価点、評価点計及び加算点の合計は、申告内容を選択、入力すると自動計算します。

iii 入札金額の入力
入札金額を入力して下さい。

(3) 様式-共2「企業の施工実績、労働福祉、社会性及び地域貢献等の状況」について

本様式は、落札候補者が提出した評価値申告書の「企業の評価」及び「企業の労働福祉・社会性・地域貢献」の申告内容を証明するものであり、作成にあたっては下記事項及び「3. 評価基準及び得点の配点」に留意して作成すること。

【企業の評価】

ア. 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点)

- ◆ 工事成績評定点の有無をリストから選択する。
- ◆ 申告した工事成績評定点の平均点(数値)を記入する。ただし、小数点以下第1位を四捨五入して整数とする。
- ◆ 申告した平均点の基となった工事成績通知書の写しを添付すること。

イ. 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績

- ◆ 同種工事について実績の有無をリストから選択する。
- ◆ 同種工事について、財団法人日本建設総合センターが運営している「工事実績情報サービス(CORINS)」の登録(竣工時)がある場合は、建設業登録番号とCORINS登録番号を記入する。
- ◆ CORINS登録がない実績については、以下の欄をすべて記入すること。
 - ・発注機関
 - ・工事名称
 - ・契約金額…最終契約金額(消費税込み)を記入する
 - ・工事概要
 - ・契約工期…工事期間を記入する
 - ・受注形態…単体か共同企業体、どちらかを選択する
- ◆ 添付資料は、CORINSの竣工時の工事カルテ(写し)又は実績が確認できる契約図書等の写しを添付すること。なお、CORINS登録の竣工時カルテ上で「同種工事の条件」を確認できない場合は、申告実績が確認できる契約図書等の写しも添付すること。

ウ. 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事表彰歴

- ◆ 表彰歴の有無をリストから選択する。
- ◆ 申告した表彰歴の表彰年月日及び表彰工事名を記入する。
- ◆ 申告した表彰歴にかかる表彰状等の写しを添付すること。

エ. 過去2ヶ年における不誠実な行為又は労働災害等

- ◆ 不誠実な行為又は事故の有無をリストから選択する。
- ◆ 指名停止通知又は事故防止にかかる文書指導の写しを添付すること。

オ. 品質管理システムの認証取得状況

- ◆ 認証取得の有無(リストから選択)及び登録証の有効期限を記入する。
- ◆ 該当があるものについては、登録証及び付属書等の写しを添付すること。

【企業の労働福祉】

コ. 建設業退職金共済制度又は退職一時金制度の加入状況

- ◆ 加入制度の有無(リストから選択)及び制度の名称を記入すること。
- ◆ 選択する制度は、経営事項審査に届出されているデータに基づくものとする。
- ◆ 加入を証明する資料の写しを添付すること。

ク. 企業年金制度への加入状況

- ◆ 加入制度の有無(リストから選択)及び制度の名称を記入すること。
- ◆ 選択する制度は、経営事項審査に届出されているデータに基づくものとする。
- ◆ 加入を証明する資料の写しを添付すること。

ク. 障害者の雇用促進状況

- ◆ 法定雇用率適用(雇用義務)の有無についてリストから選択する。
- ◆ 雇用している障害者の人数を記入する。
- ◆ 法定雇用義務のある事業所にあつては、障害者雇用状況報告書(控)の写しを添付すること。
- ◆ 法定雇用義務のない事業所にあつて障害者の雇用がある場合は、障害者の雇用が確認できる書類等を提示すること。(該当する落札候補者に別途日時を連絡します。)

【企業の社会性】

ス. 環境管理システムの認証等の取得状況

- ◆ 該当があるもの有無(リストから選択)及び登録証の有効期限を記入する。

【企業の地域貢献】

セ. 市内企業の活用計画割合

- ◆ 予定契約金額の45%を超える予定下請の有無についてリストから選択する。
- ◆ 該当がある場合は, a. 予定契約金額, b. 予定下請金額の総額, c. 市内企業との予定下請金額をそれぞれ記入すること。
- ◆ 下請負状況報告書(下請顕彰様式)等, 下請業者名, 下請内容及び予定金額が確認できるものを添付すること。(任意様式可)

ソ. 過去5ヶ年度及び現年度における下請負の地元発注推進企業顕彰歴

- ◆ 顕彰歴の有無をリストから選択する。
- ◆ 申告した顕彰年月日及び顕彰工事名を記入する。
- ◆ 申告した顕彰歴にかかる表彰状等の写しを添付すること。

タ. 過去2ヶ年度及び現年度における地域貢献活動の実績

- ◆ 活動実績の有無(リストから選択)及び活動実績名(複数ある場合は, 最新のもの2つまで。)を記入する。
- ◆ 活動実績がある場合は, 「様式-共4 地域貢献活動の実績説明書」及び添付資料を提出すること。

チ. 防災に関する応援協定等の締結実績

- ◆ 防災に関する応援協定の締結実績がある場合は, 防災協定書の写し, 団体加入を証するもの及び自社の配備体制(役割)がわかるものを添付すること。

ツ. 緊急工事登録等への取組み実績

- ◆ 登録等の有無(リストから選択)及び登録等名称(複数ある場合は2つ)を記入する。
- ◆ 緊急工事等の登録の場合は, 緊急工事等の登録又は指定受託を証するものを添付すること。

テ. 過去2ヶ年度における困難業務等の従事実績

- ◆ 緊急工事等の従事実績については, 申告実績が確認できる契約書等の写しを添付すること。
- ◆ 県内における災害時の対応活動への従事実績については, 国, 県又は市町村からの実績証明書等の写しを添付すること。

(4) 様式-共3「配置予定技術者の評価」について

本様式は、落札候補者が提出した評価値申告書の「配置予定技術者の能力」の申告内容を証明するものであり、下記事項及び「3. 評価基準及び得点の配点」に留意して作成すること。

□配置予定技術者の従事資格・氏名

・本工事に配置する技術者の氏名及び従事資格(監理技術者又は主任技術者)を記入する。

カ. 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績

◆同種工事について実績の有無をリストから選択する。

◆同種工事について、財団法人日本建設総合センターが運営している「工事実績情報サービス(CORINS)」の登録(竣工時)がある場合は、建設業登録番号とCORINS登録番号を記入する。

◆CORINS登録がない実績については、以下の欄をすべて記入すること。

・発注機関

・工事名称

・契約金額…最終契約金額(消費税込み)を記入する

・施工場所

・工事概要

・契約工期…工事期間を記入する

・従事期間…主任技術者、監理技術者又は現場代理人として従事した期間を記入する

・従事した役割…リストから選択する

・従事時の保有資格…資格名称を記入する

◆添付資料は、CORINSの竣工時の工事カルテ(写し)又は実績が確認できる契約図書等の写しを添付すること。なお、CORINS登録の竣工時カルテ上で「同種工事の条件」を確認できない場合は、申告実績が確認できる契約図書等の写しも添付すること。

キ. 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点)

◆工事成績評定点の有無をリストから選択する。

◆申告した工事成績評定点の平均点(数値)を記入する。ただし、小数点以下第1位を四捨五入して整数とする。

◆申告した平均点の基となった工事成績通知書の写しを添付すること。

◆配置予定技術者の従事した期間が判る資料を添付すること。(例:「CORINS登録の竣工時カルテ」,「発注者による従事技術者の従事証明」)

ク. 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事技術者表彰歴

◆表彰歴の有無をリストから選択する。

◆申告した表彰歴の表彰年月日及び表彰工事名を記入する。

◆申告した表彰歴にかかる表彰状等の写しを添付すること

ケ. 継続教育(CPD)の取組み状況

◆登録団体発行の登録証明書の写しを添付すること。

(5) 様式-共4「地域貢献活動の実績説明書」について

公告日の属する年度の直前の2ヶ年度及び現年度に、仙台市内において企業として参加又は実施した活動実績について、活動実績1及び2の欄に必要な事項を記入する。ただし、現年度については公告日までに参加又は実施した活動実績に限る。
なお、活動実績が複数ある場合は、最新の活動実績を2つ記入するものとする。

- ◆活動にかかる協定書、実施要領又は活動報告書のほか、状況写真、活動証明書、感謝状又はお礼状など、事業所として参加したことが証明できる資料の写しを添付すること。

(6) 様式-共5「企業の東日本大震災対応」について

ト. 東日本大震災における緊急工事等の従事実績

- ◆申告した実績を発注した本市部署名を記載するにあたり、局・部・課名まで記載すること。
- ◆該当実績が6件以上ある時は、代表的な実績を6件選んで記載すること。

ナ. 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績

- ◆「評価項目」の説明に記載されている該当条件をよく確認して記載すること。
- ◆被災者の名前が「罹災証明書」に直接記載されていない場合には、罹災証明を受けた方と同居していることが判る資料(住民票等)を併せて提示すること。

(7) 様式-II「簡易な施工計画書」について

- ・所見は文章を記載するものとし、使用する文字の大きさは10ポイント以上で、印刷したときに欄内に収まることとする。
- ・所見は配置予定技術者本人が作成すること。
- ・提出は本様式のみとし、図表等は添付しないこと。

(8) その他

提出様式の記入にあたっては、本説明書の他に「仙台市発注工事における総合評価一般競争入札の手引き(平成24年5月)」を参照すること。

6. その他, 留意事項

(1) 虚偽の記載について

- ・虚偽の記載とは、故意に事実と異なる記載をしたものをいう。
- ・落札候補者が提出した「技術提案等」において、虚偽の記載があった場合は、入札を無効とする。
※「技術提案等」とは「1. 総合評価方式の概要 (3)評価値の申告等」によるものとする。

(2) 錯誤の記載について

- ・錯誤の記載とは、入力ミス、転記ミス、判断ミス、その他単純なミスにより事実と異なる記載をしたものをいう。
- ・「評価値申告書」において落札候補者が有している実績を超える申告が行われた場合は、その評価項目の最低の評価基準における得点をもって再評価を行う。また、落札候補者が有している実績を下回る申告が行われた場合は、落札候補者の記載内容により評価を行う。

(3) 総合評価の結果の公表について

- ・落札者と請負契約を締結した場合は、以下の事項を公表するものとする。
 - ①落札者の商号又は名称及び所在地
 - ②落札者の入札価格
 - ③落札者の評価値